

# G JAPAN ORIGINAL WAX, GALLIUM

## GALLIUM PRESENT.

# 国内屈指のトップライダー、晃平と健太郎の ワクシング&チューンナップ感

Special Thanks\_GALLIUM/www.galliumwax.co.jp

### 川口晃平[KOHEI KAWAGUCHI]

**Q:** ボードのワクシング、チューンナップは言わずとも重要な事ですが、重要であるそのポイントや必要性はどんな事でしょうか？また、その事(ボードのワクシング、チューンナップ)に対し、自身の持論をお持ちであれば教えてください。

**A:** 大きく分けると二つあると思っています。一つ目は当たり前のことですが、実際のパフォーマンスに影響があるということです。板が滑らなければ、スピードが出ません。スピードが出ないと遅いだけでなく、できないターンも出てきます。また、エッジが立っていないとグリップしません。エッジがグリップしないとこれまたできないことが増えていきます。というようにどんどん悪循環に陥ってしまいます。二つ目は、どれだけ思い切ってスタートを切れるかということです。スタート前まではスタッフや仲間がいますが、スタートを切ったら一人です。誰も助けてはくれません。しかも、競技時間は30秒~1分間とあっという間です。滑る板でスタートを切る。スタートを切ったら不安なことなど何も考えず、早くゴールを切ることに専念したい。それが、選手全員が思うことではないでしょうか。そのためにも、ワクシングやチューンナップをしっかりとやっておくのは大事だと私は考えています。

**Q:** ガリウムの数ある製品の中で、一番多用する・・・

信頼しているワックスは何ですか？その理由も教えてください。

**A:** 「HYBRID BASE」ですね。ワールドカップなど大きいレースになるとサービスマンにお願いしていますが、自分でワクシングをするときはベースワックスに「HYBRID BASE」を使うことが多いです。「これさえ塗っておけば大丈夫だよ！」と他の選手に言われて使用し、これまで外したことがありません。自分の中で迷ったらとりあえず「HYBRID BASE」というのがあります(笑)。



HYBRID BASE

**Q:** ガリウムの製品で、「こそぞ！」の場で使用するワックスは何ですか？また、そのワックスはどんな時、どんなシチュエーションにおいて使用しますか？

**A:** そりゃー「GIGA SPEED」シリーズでしょ(笑)！ その中でも液体のGIGA SPEED Maxfluorはよく使います。生塗りと比較すると粉より持続性

が良く付着力が強いんです。汚れが付き難いのもポイントですね。パラレル種目の決勝は、何本も滑らないといけなくて、短時間で仕上げないといけなくて、汚れがいたらアウトなので重宝しています。あと、粉と併用するのはかなりGOOD！ですね。



GIGA SPEED

**Q:** CARVE読者へ、ボードのワクシング、チューンナップについてアドバイスををお願いします。

**A:** いろいろなおワックスメーカーがありますので、GALLIUMのように滑るワックスはおそらく他にもあるかもしれません。ただ、冒頭でも書かせてもらいましたが、一番はどれだけ思い切ってスタートを切れるか。そして、ゴールした後に自分の選択に悔いがなかったかということに尽きると私は思っています。私は色々試した上でGALLIUMを選択し、これまで積み重なった信頼があるので、GALLIUMを使用し続けています。皆様も私のよう後悔しないワックスを探されるといいと思います。もしどのワックスにするか迷ったらそのときは「GALLIUM」を使用することをおすすめします。



Photo by Gamichan



川口晃平

メインスポンサー: PAN77DA STUDIO

スポンサー: OGASAKA, UPZ, F2, GALLIUM, auto garage Free Style、スノサウルス、Libec、GSS

## GALLIUMセールス&サービスマンの三浦さんに聞く「すぐに役立つ!ワクシング&チューンナップQ&A」



### チューンナップ・エッジの重要性

**A:** アルペンレーサーにとって、むしろワックスよりもエッジが重要になる場合が多くある。なぜなら、レースはターンの連続! 滑走面よりも、エッジに乗っている時間の方が長いからだ。このエッジが、しっかり立っていないと上手いカービングができなくなり、思い切ったラインをとれなくなります。エッジは一回滑走することに必ず角が丸くなります。頻繁に手入れする事をオススメします。例えば、アルペンスキーのレーサーだとさらに頻繁にエッジを研ぐため、1シーズンを終えるとエッジの幅が半分になる事も! スノーボードのレーサーは、まだまだエッジに対しての意識が低いのが現状です。そこで、誰でも簡単にエッジの調整ができるDIAFACE MOONFLXを紹介したいと思います。通常、エッジを研ぐ(角度づけ)にはファイルを使用する。しかし、ファイルを使用するには、ある程度の技術(コツ)が必要になります。DIAFACE MOONFLXは、ファイルほど研削力はないが、比較的簡単にエッジを手入れすることができます。シーズン前に、チューンナップに出して、キンキンに研いでもらったエッジを、角が完全に丸くなる前にDIAFACE MOONFLXで定期的に入れ替える事で、キレイなエッジをキープする事ができます!(注意: 研削力が低いため、完全に丸くなったエッジを立てせる、角が尖っている状態にする事はできません)



DIAFACE MOONFLX  
3点セット

競技、ゲレンデでのフリーライドを問わず、カービング・スノーボードにおいてワクシングとチューンナップは、競技で結果を出す為なのはもちろん、楽しくフリーライドする為に重要だという事は、CARVE読者には言わずとも理解されていると思う。今回は、国内だけでなく世界的に評価の高い、GALLIUMからサポートを受けている国内屈指のトップライダーである晃平と健太郎に、彼らの「ワクシング&チューンナップ感」を聞く。

## 吉岡健太郎[KENTARO YOSHIOKA]

**Q:** ボードのワクシング、チューンナップは言わずとも重要な事ですが、重要であるそのポイントや必要性はどんな事でしょうか？また、その裏(ボードのワクシング、チューンナップ)に対し、自身の持論をお持ちであれば教えてください。

**A:** チューンナップは、戸崎啓貴選手の紹介で千葉県にあるMR.TUNEの小部さんに19歳の時からやっていただいています。中学生の頃はチームの絡みでチューニングに出していましたが、何が何だかよく分からなかったし、お金もかかるし、なんかもったいなくて・・・ずっとチューンナップもしないで大会出ていました。今となっては恥ずかしい話ですが、チューンナップの道具(ファイルガイドやダイヤモンドなど)を持ちはじめたのもW杯遠征を回れるようになってからです。ワックスは最初知っている方も多いと思いますが、僕は21歳？22歳？・・・くらいまでは滑ったらワックスを塗ると言う習慣がありませんでした。塗ったら塗りっぱなしで、自然とワックスが剥がれたらまた塗る・・・の繰り返し。しかし、シビアな海外レースに行くにつれ、ワクシングとチューンナップの重要性を感じる様になりました。チューニングはまず、その人のライディングに的確に合わせられるサービスマンかどうかです。滑りも見ずに、癖も知らずに、一定のチューニングをしてしまうお店に出すくらいなら出さなくていいと思います。ワックスはたくさん塗り込んでください、顔が滑走面にうつるくらいピカピカに仕上げてください。そうすることで、気持ちも入りますし、愛着もわきます。なにより、寒すぎて結晶がささるとき、温かくて雪が汚いときなどでも楽しいライディングができます！

**Q:** ガリウムのある製品の中で、一番多用する・・・

信頼しているワックスは何ですか？その理由も教えてください。

**A:** そりゃあ、間違いなくBLUEです！雪温が-2から-8なので、11月～3月まで毎回塗るのはBLUEです。年間に2～3キロは消費していると思います。特にEXTRA BASE BLUEは、塗り込み、または、普段のワクシングから使用する事で滑走面にどんだん染み込みピカピカの滑走面に仕上がります。もちろん滑走性もアップします。



BLUE

**Q:** ガリウムの製品で、「こそぞ！」の場面で使用しているワックスは何ですか？また、そのワックスはどんな時、どんなシチュエーションにおいて使用しますか？

**A:** GREEN (EXTRA BASE GREEN) です。なまら寒くて雪が刺さって滑らないときに僕だけ普通に滑っている事が何回も

ありました。塗るのもスクレップするのも大変ですが、その分、粒子は小さくて奥にグングン入って行くので、エッジ回りだけでも入れておくとベースパーン防止にもなります！



GREEN

**Q:** CARVE読者へ、ボードのワクシング、チューンナップについてアドバイスをお願いします。

**A:** ワックスは1回滑ったら、ボードに感謝の気持ちをこめて塗ってあげてください。チューンナップを劇的に良くしたいならMR.TUNEにライディングがわかる動画などを持ち込んでお願いしてみてください。危ないかもしれませんが、僕と同じチューニングも出来ますよ！



Photo by Gamichan

吉岡健太郎

オフィシャルパートナー：菓子工房 Furano Delice、カバヤ薬局、唯我独尊、深山峠アートパーク、山田農場、Master Braster  
オフィシャルスポンサー：SG、Columbia、UPZ、CARRERA、BETONES、GALLIUM、applerind、BANE INSOLE、MR.TUNE、F2、YOROI、札幌じてんしゃ本舗、あぶらとり紙のよーじや、SEV、New-HALE、GLOBAL WIFE、エクステアジャパン、Kentai、K OFFICE、PEEPS HAIR、NIKID ESIGN

**Q** CARVE読者、アマライダー(中級以下の)、一般ユーザーへ対し、ワクシング&チューンナップに関するアドバイスをください。ワクシングの重要性やポイント、簡単なレクチャーをお願いします。

ワクシング・クリーニングの重要性

**A** 滑走低下(滑りが悪くなる)の一番の原因は、滑走面のゴミ&汚れの付着です！ワックスの影響によって、滑走性が悪くなるのは、その次の要因です。滑走面にゴミ&汚れが付着すると、単純に異物となりブレーキになります。そこで、皆さんにオススメするのが、クリーナー 300！これを使えば短時間で簡単にクリーニングができます。クリーナーを使用するにあたって、皆さんの誤解を解いておきたいと思います。「クリーナーを使用すると、ホットワクシングで滑走面に染み込んだワックスまで溶かして、取ってしまう！」と思っている方が多くいますが、これは間違いです！クリーナーは染み込んだワックスを溶かし、取ってしまう事はありません(弊社、実証&計測済み。実際に、世界のトップ選手も使用しています)。ホットクリーニングが面倒だし、クリーナーを使用するとワックスを取ってしまうからクリーニングせずに、いきなりワクシングをしているあなた！短時間でクリーニングできるクリーナーを使用してみてください！ワンポイント知識になりますが、レーサーが、ホットクリーニングを進める理由は、ワックスを溶かしてクリーニングするので、ワックスが染み込みつつクリーニングもできるから、つまり一石二鳥なんです。滑走性を重視するレーサーであれば、少しでもワックスを染み込まない心境があるため、ホットクリーニングをオススメするのです。



クリーニングで使用したペーパー。こんなに沢山の汚れが！！



クリーナー 300